



ロリポップつうしん

～布おもちゃの貸し出しをしているボランティアグループです～

NO. 9

H.29. 2月発行

おもちゃひろば

ロリポップ

おもちゃひろばロリポップ10年の活動

「おもちゃひろばロリポップ」を穂苺弓さんと立ち上げてから早いもので10年が過ぎました。スタッフや会員の入れ替わりはありましたが、沢山の利用者におもちゃをお届けすることで支えられてきました。一対一で向き合っていると煮詰まってしまうことが多いのは障害のある子どもの親なら皆、思いあたることだと思います。時には面倒に思える個性もおもちゃを通して皆でわいわい遊ぶことで前ほど気にならなくなったり、面白がったりできるようになると毎日の生活も違った景色に見えてくるかも。そんな想いでこれからもやっていけたらと考えています。大人になってからも大勢で楽しめるおもちゃのアイデアはいつでも募集中です。楽しいことをしていて夢中になっていると時間を忘れるものです。ロリポップのおもちゃでそんな時間を共有できたら本当に嬉しいです。

これからも頑張りすぎず ゆる～く活動を継続していけたらと思っています。宜しくお願いします。

代表 西村

月1回の例会には、白浜養護学校地域支援の先生、社会福祉法人藤沢育成会サービスセンターぱるの職員さんにご参加いただき、子どもの目線で「こんなおもちゃがほしい！このおもちゃが布だったら嬉しい。」とお話をいただいた2016年度。新しいおもちゃ「キャベツのあおむし」「5匹のネズミ」、貸し出ししているおもちゃで休み時間に自由に遊べるコーナーができたお話など、盛りだくさんの9号！ご紹介します。



『キャベツのあおむし』

プログラム活動である“音楽会”の中で使用しました。

子どもたちに人気のある手遊び歌が、布おもちゃになったということで、スタッフもわくわくしながら使わせていただきました。

スタッフがキャベツの中に指を入れた時の子どもたちの注目する視線は、とても印象的でした。そして、中からあおむしが出てくると「おとうさんあおむしだ！」や「おにいさんあおむしだ！」と指さしながら、嬉しそうにことばにしていました。

最後に、キャベツからキラキラした蝶々が出てきたときには、女の子たちは「きれい！」や「かわいい♡」とことばにしたり、童謡の「ちょうちょう」を歌ったりして、とても喜んでいました。

普段は手や指だけで表現する手遊び歌が、布おもちゃという目で見てわかりやすい形になったことで、今まで参加が難しかった子どもたちも笑顔で参加することができました。



『5匹のネズミ』

プログラム活動である“音楽会”の中で使用しました。

普段は、紙製のペープサートで行っている歌遊びだったため、ネズミのぬいぐるみが登場すると子どもたちはびっくり♪ネズミがそれぞれ5色の服を着ていることも魅力的だったようで「みどりが好き！」や「ピンクがいい！」などと、大盛り上がりでした。

ネズミを子どもたちに配って、音楽会スタート！歌に合わせて、スタッフが持つバスに、ネズミを順番に乗せてもらいました。落ちないように慎重に乗せたり、あえてダイナミックに乗せたり、思い思いの方法で楽しんでいました。

乗り物の種類はバスだけでなく、新幹線や気球もあるので、飽きずに楽しむことができました。また、バスと新幹線はサイズに(大)と(小)があるため乗せるときの難易度を変えることが出来るのもこのおもちゃの魅力です☆

時には、バスを持つ役割を子どもたちにお願いすることもあり、子どもたち同士の関わりで音楽会がより一層盛りあがる場面もありました。

子どもたちにとって楽しい活動だからこそ“順番を待つこと”や“お友達といっしょに楽しむ”などということが自然にできているような印象を持ちました。

素敵なおもちゃをありがとうございました。

社福)藤沢育成会 サービスセンターぱる 和田



<新しいおもちゃが仕上がりました>

さあ どんな子のはまるかな？
楽しんでくれるかな？
顔を思い浮かべ 心ウキウキ興奮する瞬間です。

「おもちゃ」作りはロリポップ例会の会話の中から、新しい企画が立ち上り、デザインの作業が始まります。

- シンプルに誰でもわかる特徴を探し捕える **形**
- 信号の赤・青・黄を中心に心踊る組み合わせの **色**
- 障がいがあり色々な事が苦手な子でも楽に使える **形態**
- 優しく温もりあるこわれにくい布 **素材**
- 安全性を一番に考える **仕上げ**
- 子供の心と同化した **目線**

楽しく遊ぶ中でいつのまにか子供達の心に入りこみ、自然に自立と身を守るすべを学べる「おもちゃ」をめざしてデザインをしています。

ロリポップデザイン担当 穂苺 弓

おもちゃひろばロリポップの会員である藤沢市立白浜養護学校では、毎年たくさんの布おもちゃをロリポップさんからレンタルしています。

子どもたちの様子に合わせて製作していただいたおもちゃもたくさんあります。個別の課題学習や生活の授業の教材として、また休み時間のお楽しみなど様々な場面で活躍しています。

毎年11月に行われる白浜祭では、PTAの方々がロリポップのおもちゃを利用してお楽しみコーナーを設置してくれます。今年の布おもちゃは「おにたいじ」と「サッカー」でした。新キャラクターの「おにたいじ」は特に小学部の児童には大人気でした。「ボールを投げて当てる」というよりは、おにに触りたいという気持ちが増しているようで、おにに触ろうとする姿がたくさん見られました。「サッカー」のコーナーでは、多くの子どもたちが楽しめるように、ゴールを下の方に設置するなどの工夫をしてくださいました。毎年多くの子どもたちが楽しんでいるお楽しみコーナーです。

にこにこクラブ



たくさんある布おもちゃをより多くの場面で親しめる機会はないだろうかと
考えて生まれたのが「にこにこクラブ」です。

現在は毎週月曜日の給食後に、図書コーナーで「にこにこクラブ」を開催しています。
「誰でも気軽に遊びに来てね！」をモットーに、地域支援でいくつか布おもちゃを選び、
すぐに遊べるように展示してあります。

いつも決まって用意するおもちゃは、的当て系のおもちゃ、子どもたちが自分で製作して楽しめるおもちゃ
(のりまきやおにぎり、ホットケーキなど)、季節のおもちゃです。

のりまきやホットケーキなどの食育系のおもちゃは、具材を自分で選び、巻いたり、握ったり、盛り付けたりして好みの食べ物を作ります。隣のお友達に「どうぞ」とごちそうしたり、顔を見合わせて「いただきます」をしたり、学年を越えた交流も「にこにこクラブ」の楽しみです。12月はクリスマスが近かったので、クリスマスリースを作るコーナーを設置しました。とても人気で、星やハート、サンタやトナカイを飾って素敵なリースがたくさんできあがりしました。図書コーナーの柱に飾ると、とてもうれしそうなお表情を見せてくれました。迎えに来た担任にも指をさしてできあがったリースを「見て！見て！」と紹介していました。これから節分やひな祭りなどの季節行事が盛りだくさんなので、今後の活動も楽しみです。

藤沢市立白浜養護学校 地域支援担当

敬称略

編集後記

ロリポップの活動も10年。今回は皆さんにご寄稿いただき、盛りだくさんの「つうしん NO.9」が出来上がりました。その昔、毎月「たより」を発行していた頃は、PCもなく文字もカットも手書き(歳が…(笑))そんな素人がPCに向かい、9号まで発行することができました。拙い紙面は、温もりあるおもちゃと皆さんに助けられました♪ありがとうございました。
(小林)